

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

寒さ厳しい日々が続いておりますが、皆様に於かれましては年末年始をどの様にお過ごしになられましたでしょうか。

さて、昨年末の衆議院議員選挙において、政府与党による一強多弱の国政運営が継続される事となりましたが、日本経済を牽引する愛知においては、民主党の健闘ぶりが光ったのは嬉しい限りであり、改めて皆様に感謝申し上げます。

では、何故その様な結果となったのかと考えると、政府与党は特にアベノミクスの成果を強調していましたが、株価上昇などの成果は認めつつも、実質賃金減少や格差拡大等の問題も抱えている事から、将来に備え、年金・医療・介護・子育てといった社会保障分野への直接投資の必要性を訴えた民主党に対し、ご共感頂けたからではないでしょうか。

少子高齢化社会において、愛知県も今年をピークにいよいよ人口減少へと突入いたしますが、2027年度のリニア中央新幹線の開業を視野に入れ、産業の革新・創造拠点としての役割を担いながら、国内外から人・モノ・カネ・情報を呼び込む存在感ある中京大都市圏づくりに向けた『あいちビジョン2020』が昨年3月に策定されました。

また、ビジョンを推進する行財政体制の確立を目指した次期行革大綱『しなやか県庁創造プラン』、更には南海トラフ地震の発生に備えた『第3次地震対策アクションプラン』も昨年末に策定されましたので、これらの計画が確実に実行され、誰もが魅力を実感できる愛知の実現に向けて頑張ってお参りますので、本年においても変わらぬご指導をお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が皆様にとって幸多き年となるようご祈念申し上げ、新年のご挨拶に代えさせていただきます。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 